

## <今朝の聖書から>

村上定幸

【服従させる】子どもたちは、秘密の場所をととても大切にします。おもちゃ箱や、引き出しの中を荒らされることを嫌うものです。こんな頃から、もう服従させる世界ということ学ぶようです。大人も、趣味の世界を自慢したい半分、そこに入り込まれることを嫌います。カメラが好きだったり、車に凝っている、なんて例を思い出せばよく分かります。その領域は自分に従属させることのできるものであり、服従させることが許されているからです。また楽しみでもあり、達成感も生み出すようです。どんな人でも、だれ一人、自分の管理下にあるものを持っていないという人はいません。

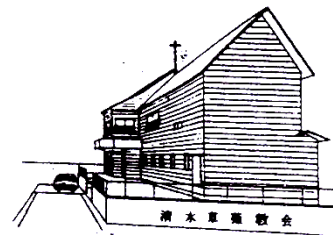
【悪霊を服従させる】諸悪の根源、罪と汚れの源である悪霊を服従させ、撃退することは、とても大切なことであり、皆が求めていることでした。弟子たちもそうです。それを“御名を使う”ということで手にしました。“主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します(10:17)”と主に報告しています。信仰を知らない人に分かりやすく説明するとこうなるでしょう。就職や世の中の駆け引きのことで、土地の有力者に頼んだので何とかになった、というようなことかもしれない。その中には、無理を通そうというものもありましょうし、また、かき消されそうになってしまった小さな意見が、しかも正しい意見が認められ実現した、ということもあるでしょう。弟子たちは、ここでは、働きから帰って来た七十二人が、“貧しい人の見方になることができ、病をいやすことができ、悪霊を服従させ追いつくことができました。これもあなたのお名前を出すことができたからです”とイエス様に報告していることとなります。

【悪に勝つ力】“不平等や不条理、全ての罪に打ち勝つ力をあなた方に与えた”とイエス様は語られます。“蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない(10:19)”とあるとおりです。“しかし”と教えは続きます。“あなた方の善行の喜びは天にこそある”と仰います。世にある権力者が、自分の発言力や政治力が増してゆくことを無上の目的とし、喜ぶようなことをあなた方はしてはならない、ということです。喜ぶべきことは、働き手がおこされ、働き手である“あなた方自身の救いに関することである”と教えられるのです。

【これが主の喜び】10:21 で“喜びにあふれて言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。」”と最高の喜びを語られます。“あなた方を見ているものを見る目は幸いだ(10:23)”とあるのはどういうことでしょうか。それは教会の喜びなのです。弱い人々の願いを、大きな、公義を愛する力と道とするために教会は力を注いできました。これこそ、預言者が願って来たことであり、確信していた、現代に及ぶ聖霊の力のことです。この力こそ、“主を見る者だけのもの”なのです。私たちは主の名によって克服します。

# 週報

2011年 6月 19日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042